

各TFの検討課題

【3つの基本活動方針】

- 社会的要請に応える「MA/MSL活動のValue」の明確化
- Patient Centricityの実践等を通じたMA/MSL活動の「活動Best Practice」の追求
- MAが関わるエビデンス創出の促進

KT1: MA部会広報活動、MA部会成果物の統一感に関する検討

TF1: MA/MSLの活動に関する基本的考え方の追補等に関する検討

TF2: MA部会員のコミュニケーション/交流の促進に関する検討

TF3: MSL活動の質の向上に関する検討

TF4: 理想的なME会合のあり方の検討

TF5: デジタル技術を活用した医学・科学的情報提供のあり方の検討

TF6: 企業横断的な医学・科学的情報提供のあり方および実行性の検討

TF7: Patient Centricityに関する検討

TF8: 患者等を対象とした疾患啓発活動の検討

TF9: 臨床研究法、薬機法(再審査・再評価等に係らない製造販売後臨床試験)における企業対応

TF10: 倫理指針における企業対応

TF11: MAにおけるReal World Data研究

TF12: MAにおけるPublication

EGLT *

*EGLT: Evidence Generation Leadership Team

正副部会長

運営会議

メディカルアフェアーズ部会 Medical Affairs Expert Committee

2024年度 活動体制&活動方針

MAのミッション

MAは、すべての患者さんへ最適な医療を届けるため、

- 1.アンメットメディカルニーズを充足させる医学・科学的なエビデンスを構築し、医療従事者等へ情報発信する**
- 2.高度又は最新の科学的知見等を用い、医学的・科学的交流を社外医科学専門家に対し行う**

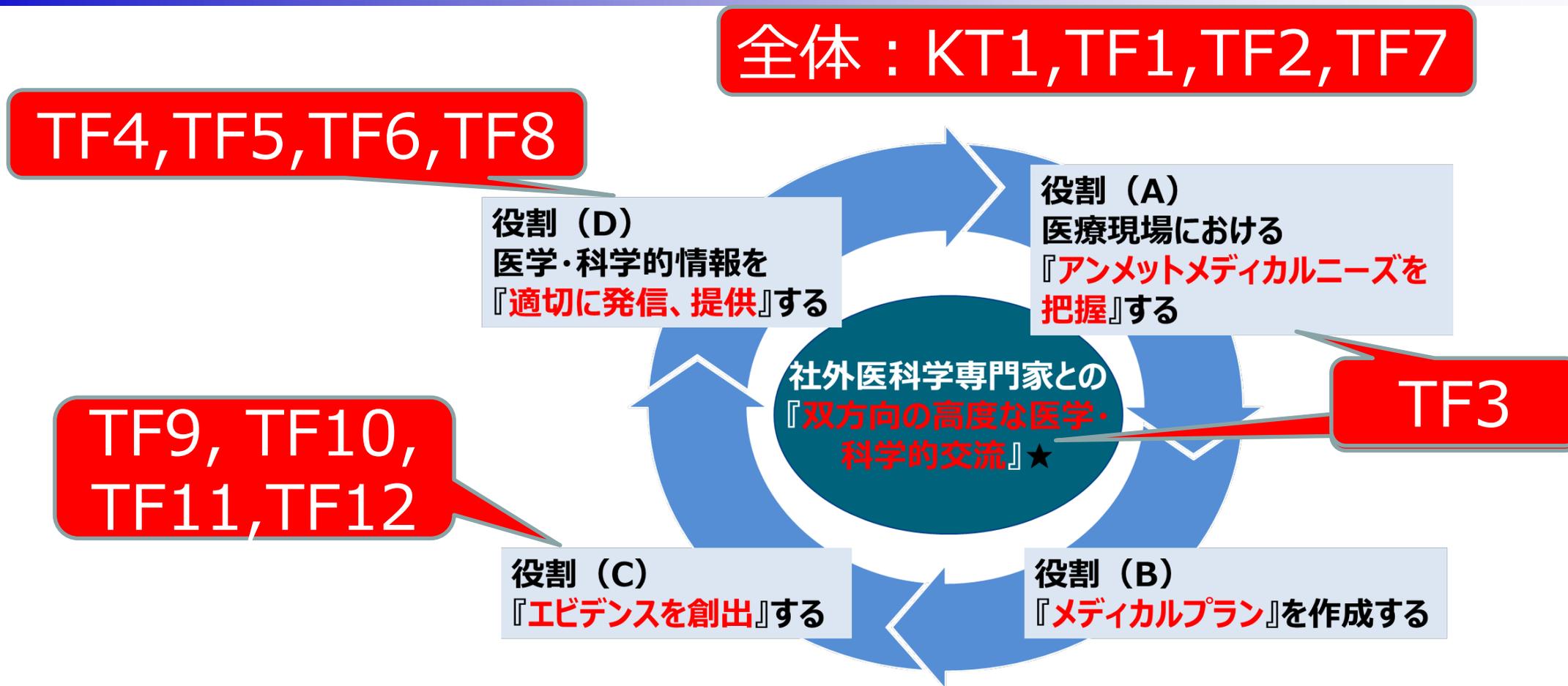
2024年度基本活動方針：2023年度から継続

臨床評価部会、コードコンプライアンス推進委員会、患者団体連携推進委員会、公正取引協議会、医法研などとの協働を図りながら、以下の3つの方針の下、MA/MSL活動の標準化およびValueの認知・共感度向上を目指した具体的な提言活動を行う

【3つの方針】

- 社会的要請に応える「MA/MSL活動のValue」の明確化
- Patient Centricityの実践等を通じたMA/MSL活動の「活動Best Practice」の追求
- MAが関わるエビデンス創出の促進

MAの役割と各TFとの関係



★担い手としてMSLと呼ばれる職種を組織する場合がある

2024年度部会の体制

部会長	青山 幸司（アステラス）
副部会長	椎名 哲也（アツヴィ）
	野口 明良（塩野義）
	宮田 康司（武田）
	平田 拓也（アステラス）
	鍛冶屋 景子（日本イーライリリー）

- 『みんなで議論し、作り上げていく部会』を目指します